

一宮西港道路の都市計画決定に関する 愛知県都市計画審議会環境影響評価調査専門部会(第2回)

- 1 とき 令和8年6月4日(木) 午後1時30分から午後2時30分まで
 2 ところ 愛知県庁西庁舎2階 第11会議室
 3 内容

- (1) 開 会
 (2) 部会長あいさつ
 (3) 議題

①都市計画及び環境影響評価手続の流れについて(資料1)

○説明要旨(海老原課長補佐)

第2回専門部会の審議内容、審議後の手続の流れについて説明

【質疑応答等要旨】

質疑応答なし

②都市計画の案を作成するための基本方針(案)について(資料2)

○説明要旨(河合主任)

一宮西港道路の基本方針(案)について説明

【質疑応答等要旨】

質問等要旨	回答要旨
(鈴木部会長) 資料2「2. 一宮西港道路の整備効果」内において、高速道路のネットワークが繋がるとされているため、他の高速道路ネットワークとの繋がりが分かるように図示すると良いと思う。	(海老原課長補佐) 他の高速道路ネットワークとの繋がりがより分かりやすくなるよう、表現を工夫して図示してまいります。

③環境影響評価方法書(案)について(資料3)

○説明要旨(河合主任)

環境影響評価方法書(案)について説明

【質疑応答等要旨】

質問等要旨	回答要旨
(朴委員) 道路ができることで大気質に影響が出ることは少ないと考えるが、しっかりと予測や調査をしてもらえれば問題ないと思う。 光化学オキシダントが環境基準を達成していないとのことだが、他地域でも環境基準を達成していない箇所が多数存在している現状を前提として考えると良いのではないかと思う。 桑名市や木曾岬町にも配慮して計画してもらいたい。 三重県知事からの意見数が多いのは大きな期待をしているからだと思う。国土交通大臣からの意見についても、真	(海老原課長補佐) 助言について承りました。

<p>撃に対応してもらいたい。</p> <p>説明会は三重県でも実施するのか。</p> <p>(島田委員) 方法書では、重要種及び注目すべき生息地として整理していくことになると思う。レッドリストに記載はないが、ニホンアカガエルなどこの地域に存在することが重要と捉えられる動物もある。そういった種についても適宜専門家の意見を反映し、取りこぼしのないよう対応してもらいたい。</p> <p>(中村委員) 資料3の7ページ 「津島の透明鱗のギンブナ」が、津島市内全域にハッチングされているが、どういうことか。</p> <p>(西田委員) 資料3の11ページ 国土交通大臣意見に記載のとおり、植生自然度が高いとされた箇所に関して重点的に調査するのは最もだが、事業実施区域の南部は埋立地や水田が多くあり、渡り鳥にとって重要な場所である。水田等の湿地的な環境を好む植物で今は希少になってしまったものもあるので、植生自然度の高いとされたところだけでなく、埋立地や水田等の渡り鳥や植物の調査についても心掛けてもらいたい。</p> <p>方法書の調査期間で鳥だと春夏秋冬、植物だと春夏冬というのは良いと思うが、渡り鳥だと立ち寄る期間が限定的だったりする。湿地にあるスブタという植物のような、短い期間しか花をつけない種もあるので同定が難しい。重要な種に関しては、花が咲く時期にも配慮し、調査タイミングを逃さないようにしてもらいたい。</p> <p>(川口委員) 資料3の8ページ 用途地域で市街地の状況を判断するのは一つの方法だと思うが、市街化調整区域にも既存集落があるため、土地</p>	<p>(海老原課長補佐) 桑名市と木曾岬町での方法書に関する説明会等については、事業予定者である国土交通省中部地方整備局が実施する予定です。</p> <p>(海老原課長補佐) 方法書に記載されている重要な種以外の動植物についても、調査等も含めて今後検討してまいります。</p> <p>(海老原課長補佐) 「津島の透明鱗のギンブナ」は、津島市により市天然記念物に指定されており、所在場所は市内全域とされており、今後、詳細なルートを決めていく際に、対象となる川や池等で生息状況の調査を行ってまいります。</p> <p>(海老原課長補佐) 調査地点については、委員の意見も踏まえて適切に検討してまいります。</p> <p>(海老原課長補佐) 調査時期については、対象の種にあった季節を考慮して調査を行ってまいります。</p> <p>(海老原課長補佐) 今後の詳細なルートや道路構造の検討にあたっては、既存の土地利用なども考慮して進めてまいります。</p>
--	--

<p>利用図を用いて土地の利用実態を把握するのも一つの方法だと思う。</p> <p>(鈴木部会長) 資料3の10ページ 嵩上式の構造が基本の形とされている中で、国土交通大臣意見への見解に「トンネル構造を採用する場合は」という文言があるが、こういった箇所が対象となり得るか。</p> <p>トンネル構造の可能性もあり得るとなった場合は、必要に応じて項目選定していくこととし、現時点ではこの項目表記で良いか。</p> <p>(鈴木部会長) 西田委員から意見のあった調査時期の設定について、方法書に追記はされるか。</p>	<p>(朝田担当課長) 本道路の主な構造は嵩上式ですが、交差する物件との交差方法次第では、トンネル構造となる場合もあり得るため、今後の可能性も含めて幅広い対応ができるよう見解を定めております。</p> <p>現時点の主な構造は嵩上式としているため、それを反映した項目選定となっております。</p> <p>(海老原課長補佐) 個別の種に対する調査時期については、調査結果と共に準備書に反映してまいります。</p>
--	---

(部会資料)

- ・資料1
一宮西港道路の都市計画及び環境影響評価手続の流れ
- ・資料2
一宮西港道路 都市計画の案を作成するための基本方針(案)
- ・資料3
一宮西港道路の環境影響評価方法書(案)について
- ・資料4
一宮西港道路 環境影響評価方法書のあらまし(案)
- ・参考資料1
一宮西港道路 環境影響評価方法書(案)
- ・参考資料2
一宮西港道路 環境影響評価方法書 要約書(案)

(出席者)

委 員		
部会長	鈴木 弘司	都市計画(交通)
委員	若杉 里実	環 境 ・ 衛 生
委員	川口 暢子	建 築 (景 観)
委員	朴 恵淑	大 気 質
委員(web参加)	岡田 恭明	騒 音 ・ 振 動
委員(web参加)	島田 知彦	動 物
委員(web参加)	中村 晋一郎	土 木
委員(web参加)	西田 佐知子	植 物
※高橋委員、道林委員は欠席。		

県		
都市計画課	課長	青柳 克彦
〃	担当課長	朝田 堅次
〃	課長補佐	海老原 直子
〃	主任	河合 俊哉